

アップグレードガイド

Novell. ZENworks® 10 Configuration Management

10.3

2010年3月30日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc., およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、ノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc., およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページを参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008-2010 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell マニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 新機能	9
1.1 新しいプラットフォームのサポート	9
1.2 管理ブラウザの新バージョンのサポート	9
1.3 一般的な機能強化	10
1.4 アセット管理	10
1.4.1 ユーザーベースのライセンス登録	10
1.4.2 ZENworks コントロールセンターの機能強化	10
1.5 認証	11
1.6 コンテンツ	11
1.7 イメージング	11
1.8 新しいバンドル権限とポリシー権限	12
1.9 パッチ管理	12
1.10 リモート管理	12
1.11 レポート機能	12
1.12 アップグレード	13
1.13 ZENworks Appliance	13
2 ZENworks Configuration Management 10.0.x から SP3 (10.3) へのアップグレード	15
2.1 BusinessObjects Enterprise サーバ用のプレアップグレードタスク	15
2.1.1 BusinessObjects Enterprise のアンインストール	16
2.1.2 ZENworks Reporting Server のインストール	17
2.2 ZENworks Configuration Management 10.3 へのアップグレード	17
2.3 アップグレード後のタスク	18
2.3.1 Novell File Upload 拡張機能の再インストール	19
2.3.2 組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築	19
3 ZENworks Configuration Management 10.1.x から SP3 (10.3) へのアップグレード	21
3.1 アップグレードで行われない処理の理解	21
3.2 ZENworks Configuration Management 10.3 へのアップグレード	21
3.3 アップグレード後のタスク	23
3.3.1 Novell File Upload 拡張機能の再インストール	23
3.3.2 WAIK のアップロード	23
3.3.3 ZENworks Reporting Server のインストール	23
3.3.4 組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築	24
4 ZENworks Configuration Management 10.2.x から SP3 (10.3) へのアップグレード	25
4.1 ZENworks Configuration Management 10.3 へのアップグレード	25
4.2 アップグレード後のタスク	26
4.2.1 ZENworks Reporting Server のアップグレード	26
4.2.2 Novell File Upload 拡張機能の再インストール	27

4.2.3	WAIK のアップロード	27
4.2.4	Sysinfo のインストール	27
4.2.5	組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築	28
4.2.6	ZENworks サーバ用追加 LDAP サーバの再定義	28

A Novell File Upload 拡張機能の再インストール 29

B ZENworks 10 Configuration Management アップグレードパスのクイックリファレンス 31

このガイドについて

このガイドには、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP3 で新しく強化された機能に関する情報と、このリリースへ正常にアップグレードする際に役立つ情報が記載されています。

このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「新機能」
- ◆ 15 ページの第 2 章「ZENworks Configuration Management 10.0.x から SP3 (10.3) へのアップグレード」
- ◆ 21 ページの第 3 章「ZENworks Configuration Management 10.1.x から SP3 (10.3) へのアップグレード」
- ◆ 25 ページの第 4 章「ZENworks Configuration Management 10.2.x から SP3 (10.3) へのアップグレード」
- ◆ 29 ページの付録 A 「Novell File Upload 拡張機能の再インストール」
- ◆ 31 ページの付録 B 「ZENworks 10 Configuration Management アップグレードパスのクイックリファレンス」

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。追加マニュアルについては、[ZENworks 10 Configuration Management マニュアル Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/zcm10/index.html\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10/index.html) を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (/) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

次のセクションでは、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP3 の新機能について説明します。

- ◆ 9 ページのセクション 1.1 「新しいプラットフォームのサポート」
- ◆ 9 ページのセクション 1.2 「管理ブラウザの新バージョンのサポート」
- ◆ 10 ページのセクション 1.3 「一般的な機能強化」
- ◆ 10 ページのセクション 1.4 「アセット管理」
- ◆ 11 ページのセクション 1.5 「認証」
- ◆ 11 ページのセクション 1.6 「コンテンツ」
- ◆ 11 ページのセクション 1.7 「イメージング」
- ◆ 12 ページのセクション 1.8 「新しいバンドル権限とポリシー権限」
- ◆ 12 ページのセクション 1.9 「パッチ管理」
- ◆ 12 ページのセクション 1.10 「リモート管理」
- ◆ 12 ページのセクション 1.11 「レポート機能」
- ◆ 13 ページのセクション 1.12 「アップグレード」
- ◆ 13 ページのセクション 1.13 「ZENworks Appliance」

1.1 新しいプラットフォームのサポート

ZENworks 10 Configuration Management SP3 では、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ プライマリサーバとしての Windows* Server* 2008 R2 のサポート
- ◆ 管理対象デバイスとしての Windows 7 のサポート

注：Windows 7 は、ZENworks 10 Configuration Management SP2 の更新 (10.2.2) 以上で管理対象デバイスとしてもサポートされています (ただし、Personality Migration 以外)。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「システム要件」を参照してください。

1.2 管理ブラウザの新バージョンのサポート

ZENworks コントロールセンターが、次の追加ブラウザバージョンをサポートするようになりました。

- ◆ Mozilla* Firefox* 3.5

1.3 一般的な機能強化

次の一般的な機能強化が行われました。

- ◆ ZENworks 10 と ZENworks 7.x Desktop Management (ZDM 7) を共存サポートします。
- ◆ ZENworks 7.x Desktop Management と ZENworks 7.5 Asset Management のデバイスを ZENworks 10 デバイスに移行します。
- ◆ 最近接サーバールールを設定できるプライマリサーバ機能として、認証が追加されました。
- ◆ zman ユーティリティによるユーザーソース接続の追加と削除が可能になりました。
- ◆ Novell eDirectory™ 用ユーザーソース接続のフェールオーバーがサポートされました。

1.4 アセット管理

アセット管理には、次の機能強化が行われました。

- ◆ [10 ページのセクション 1.4.1 「ユーザーベースのライセンス登録」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.4.2 「ZENworks コントロールセンターの機能強化」](#)

1.4.1 ユーザーベースのライセンス登録

アセット管理に、ユーザーベースのライセンスモデルのサポートが組み込まれました。

ユーザーベースのライセンスモデルでは、ライセンスされたユーザはデバイスと関連付けられ、それらのデバイスは、ソフトウェア製品のインストールと関連付けられます。ライセンスは、ユーザと関連付けられたデバイスでソフトウェア製品のインストールが検出された場合のみ使用されます。製品の複数のインストールが、ユーザと関連付けられた複数のデバイスにインストールされる場合は、1つのライセンスが使用されます。2つのユーザーベースライセンスモデルがサポートされています(ユーザごと、名前付きユーザごと)。ユーザごとライセンスモデルは、明確に除外されたユーザ(除外ユーザ)以外のすべてのユーザをカバーします。製品のインストールと関連付けられたユーザごとに1つのライセンスが使用されます。除外ユーザと関連付けられた製品インストールは、他のライセンスエンタイトルメントによってカバーされるか(同じ製品をカバーするインストールごとのエンタイトルメントが存在する場合)、または未解決のインストールとして報告されません。名前付きユーザライセンスモデルは、明確にインクルードされたユーザ(対象ユーザ)のみをカバーします。製品のインストールと関連付けられた対象ユーザごとに1つのライセンスが使用されます。非対象ユーザと関連付けられた製品インストールは、他のエンタイトルメントによってカバーされるか(同じ製品をカバーするインストールごとのエンタイトルメントが存在する場合)、または未解決のインストールとして報告されます。

1.4.2 ZENworks コントロールセンターの機能強化

ユーザビリティを向上させるため、ZENworks コントロールセンターのさまざまなアセット管理機能の強化が行われました。

- ◆ ドキュメントの [関係] ページでは、既存の契約、エンタイトルメント、および購入概要レコードにドキュメントを追加できるようになりました。

- ◆ 購買記録の [購入の詳細] ページでは、カタログ製品を作成し、作成したカタログ製品を購入詳細のレコードに追加できるようになりました。
- ◆ ライセンスの [コンプライアンスステータス] ページでは、[コンプライアンスステータス] パネルのカラムが変更されて、各ライセンスエンタイトルメント、そのライセンスモデル、およびその対象製品バージョンをより明確に識別できるようになりました。

1.5 認証

ZENworks 10 Configuration Management SP3 では、次の新機能が提供されます。

- ◆ **認証メカニズム** : スマートカードで、ユーザソースにログインし、その後、ZENworks にログインすることができます。Kerberos* 認証メカニズムを使用して、Active Directory* にログインし、共有秘密メカニズムを使用して eDirectory にログインできます。
- ◆ **認証サテライトデバイス** : 認証役割を持つサテライトデバイスが、さまざまなデバイス間にワークロードを分散し、管理対象デバイスに対して認証をローカルに実行することで、認証プロセスを高速化できるようになりました。認証役割を持つサテライトデバイスは、複数存在させることができます。さらに、認証役割を持つ各サテライトに複数のユーザソースを設定したり、フェールオーバーに備えて、サテライトごとに各ユーザソースへ複数の接続を確立することもできます。

1.6 コンテンツ

コンテンツの管理に関して、次の機能強化が行われました。

- ◆ サテライトへの特定コンテンツタイプのレプリケーション。スロットルレートと期間設定が含まれます。
- ◆ コンテンツレプリケーションスケジュールのサポートが拡張されました。
- ◆ バンドルアクションを強化して、デバイスへのバンドルコンテンツ配布時の制御を向上しました。

1.7 イメージング

ZENworks 10 Configuration Management SP3 のイメージングでは、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ サードパーティーのイメージング用に WAIK (Window Automated Installation Kit) 3.0 をサポートします。
- ◆ ZDM 7 エージェントと ZENworks Adaptive Agent (アセット管理を含む) が共存するデバイスに対して、ZENworks 7.x Desktop Management (ZDM 7) からのイメージング操作がサポートされます。
- ◆ スロットルやスケジュールなどのコンテンツ複製設定に基づいて、イメージング役割を持つサテライトのイメージングコンテンツの複製と配布をサポートします。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「サテライトデバイスの追加と設定」を参照してください。

1.8 新しいバンドル権限とポリシー権限

次の権限が追加されました。

- ◆ **バンドル割り当て**：この新しいバンドル権限は、[バンドル権限] ダイアログボックスの [コンテキスト] パネルに一覧されるバンドルをユーザオブジェクトまたはデバイスオブジェクトに割り当てるために必要な権限を、管理者に対して許可または拒否します。
- ◆ **ポリシー割り当て**：この新しいポリシー権限は、[ポリシー権限] ダイアログボックスの [コンテキスト] パネルに一覧されるポリシーをユーザオブジェクトまたはデバイスオブジェクトに割り当てるために必要な権限を、管理者に対して許可または拒否します。

ZENworks 10 Configuration Management SP2 から ZENworks 10 Configuration Management SP3 にアップグレードする場合、既存の管理者アカウントは、既存の権限に加えて、次の権限を取得します。

- ◆ 指定のコンテキストに関するバンドル割り当て権限とポリシー割り当て権限
- ◆ バンドルのコンテキストに関するバンドル割り当て権限
- ◆ ポリシーのコンテキストに関するポリシー割り当て権限

詳細については、『システム管理リファレンス』の「[権限の説明](#)」を参照してください。

1.9 パッチ管理

ZENworks 10 Patch Management SP3 では、次の新機能や強化機能が提供されます。

- ◆ ZENworks コントロールセンターの [環境設定] タブから、必須ベースラインパッチの展開を制御できるようになりました。
- ◆ 展開ウィザードでは、すべての未パッチデバイスにパッチを展開したり、特定のデバイス、フォルダ、またはグループをパッチの展開先として選択できます。
- ◆ 展開ウィザードの [修正スケジュール] ページにあったイベントスケジュールタイプは、今すぐに置き換えられました。

1.10 リモート管理

ZENworks 10 Configuration Management SP3 では、次のプラットフォームでリモート管理プロキシをサポートします。

- ◆ SUSE[®] Linux Enterprise Server 10 SP2
- ◆ SUSE Linux Enterprise Server 11
- ◆ Open Enterprise Server 2 (OES Linux) SP1

1.11 レポート機能

ZENworks Reporting でユーザーの詳細レポートを使用すると、ZENworks コントロールセンターで設定した LDAP ユーザソースから、ユーザ名、電子メールアドレスなどのユーザ詳細を報告できます。ZENworks レポートをユーザの詳細レポートとリンクすることもできます。

1.12 アップグレード

ZENworks System Update 機能を使用すると、プライマリサーバや管理対象デバイスを、次のバージョンから ZENworks 10 Configuration Management SP3 に直接アップグレードすることができます。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management SP2 (10.2)
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.2.1) 用アップデート
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.2.2) 用アップデート

1.13 ZENworks Appliance

ZENworks 10 Configuration Management SP3 は、サポートされている仮想インフラストラクチャへ展開できるソフトウェアアプライアンスとして使用できるようになりました。このソフトウェアアプライアンスは、カスタマイズされた SUSE Linux Enterprise Server 10 SP2 (SLES 10 SP2) 上に構築され、ZENworks 10 Configuration Management SP3 サーバと ZENworks 10 Configuration Management SP3 ZENworks Reporting Server とともにプレインストールされます。

詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management Appliance Deployment and Administration リファレンス](#)』を参照してください。

ZENworks Configuration Management 10.0.x から SP3 (10.3) へのアップグレード

2

このセクションでは、Novell® ZENworks® Configuration Management 10.0.x から ZENworks Configuration Management SP3(10.3) へのアップグレードについて説明します。

ZENworks 10 Configuration Management 10.0.x から ZENworks 10 Configuration Management SP3(10.3) にアップグレードするには、デバイスが『[ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド](#)』の「システム要件」に記載された要件を満たす必要があります。

ZENworks アーキテクチャの変更により、ZENworks サーバと管理対象デバイスをバージョン 10.0.x から、直接、バージョン 10.3 へアップグレードすることはできません。ただし、ZENworks System Update とインストールメディアの組み合わせを使用すると、10.0.x から 10.3 に移行できます。

ZENworks 10 Configuration Management SP3 のインストールメディアを使用して、バージョン 10.0.x からバージョン 10.3 にアップグレードすることはできません。このセクションの指示に従う必要があります。

重要: アップグレードプロセスで ZENworks Configuration Management の別バージョンを使用するため、アップグレードを実行するには別バージョンのマニュアルを使用する必要があります。次の参照ガイドの適切なバージョンの指示に従ってください。

ZENworks 10 Configuration Management SP3 にアップグレードするには、次のセクションのタスクを実行してください。

- ◆ [15 ページのセクション 2.1 「BusinessObjects Enterprise サーバ用のプレアップグレードタスク」](#)
- ◆ [17 ページのセクション 2.2 「ZENworks Configuration Management 10.3 へのアップグレード」](#)
- ◆ [18 ページのセクション 2.3 「アップグレード後のタスク」](#)

2.1 BusinessObjects Enterprise サーバ用のプレアップグレードタスク

このセクションは、BusinessObjects* Enterprise が ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバにインストールされている場合にのみ適用します。BusinessObjects Enterprise が ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバにインストールされていない場合は、[17 ページのセクション 2.2 「ZENworks Configuration Management 10.3 へのアップグレード」](#)に進んでください。

BusinessObjects Enterprise が ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバにインストールされている場合、サーバを ZENworks 10 Configuration Management SP3 にアップグレードすると、BusinessObjects Enterprise は機能しなくなります。

ZENworks Reports の作成および生成を続けるには、次のタスクを示された順序で実行してください。

1. ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバにインストールされている BusinessObjects Enterprise サーバをアンインストールします。詳細については、[16 ページのセクション 2.1.1 「BusinessObjects Enterprise のアンインストール」](#) を参照してください。
2. ZENworks Reporting Server をインストールします。詳細については、[17 ページのセクション 2.1.2 「ZENworks Reporting Server のインストール」](#) を参照してください。

2.1.1 BusinessObjects Enterprise のアンインストール

- 1 ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバをアップグレードして、ZENworks Configuration Management (10.1.1) に更新します。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks System Updates の概要」を参照してください。
- 2 BusinessObjects Enterprise サーバをプライマリサーバからアンインストールします。
 - ◆ **Windows の場合** : 次を実行します。
 1. 管理者としてログインします。
 2. デスクトップで、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] の順にクリックします。
 3. [プログラムの追加と削除] をダブルクリックして、BusinessObjects Enterprise サーバをアンインストールします。
 4. コマンドプロンプトで、`%ZENWORKS_HOME%\share\pmrboecleanup` ディレクトリに移動します。
 5. `pmrboecleanup.bat` ファイルを実行します。
(条件付き) レポートサーバがインストールされているプライマリサーバで、ZENworks Configuration Management(10.1.1) の更新とバンドルされた `pmrboecleanup.bat` または `pmrboecleanup.sh` ファイルを実行しないでください。ファイルを実行すると、レポートサーバはプライマリサーバから削除されます。この問題を解決するには、ZENworks Configuration Management(10.1.2) の更新にアップグレードします。その後 `pmrboecleanup.bat` または `pmrboecleanup.sh` ファイルを実行すると、レポートサーバはプライマリサーバから削除されません。
 6. ログ情報を表示するには、`%ZENWORKS_HOME%\logs\pmrboepostuninstall.log` に移動します。
 - ◆ **Linux の場合** : 次を実行します。
 1. `root` としてログインします。
 2. 次のコマンドを実行して、BusinessObjects Enterprise サービスを停止させます。
`/etc/init.d/BobjEnterprise115 stop`
 3. 次のコマンドを実行して、BusinessObjects Enterprise サービスをアンインストールします。
`/opt/novell/zenworks/share/boe/bobje/uninstallBOBJE.sh`
 4. `/opt/novell/zenworks/share/pmrbocleanup` ディレクトリに移動します。

5. pmrboecleanup.sh スクリプトファイルを実行します。
(条件付き) レポートサーバーがインストールされているプライマリサーバで、ZENworks Configuration Management(10.1.1)の更新とバンドルされた pmrboecleanup.bat または pmrboecleanup.sh ファイルを実行しないでください。ファイルを実行すると、レポートサーバーはプライマリサーバから削除されます。この問題を解決するには、ZENworks Configuration Management(10.1.2)の更新にアップグレードします。その後 pmrboecleanup.bat または pmrboecleanup.sh ファイルを実行すると、レポートサーバーはプライマリサーバから削除されません。
6. ログ情報を表示するには、/var/opt/novell/log/zenworks/pmrboepostuninstall.log に移動します。

2.1.2 ZENworks Reporting Server のインストール

ZENworks Reporting Server を、BusinessObjects Enterprise サーバをアンインストールした同じプライマリサーバか、別のサーバにインストールします。ZENworks Reporting Server のインストールの詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management レポートサーバーインストールガイド』を参照してください。

2.2 ZENworks Configuration Management 10.3 へのアップグレード

- 1 15 ページのセクション 2.1 「BusinessObjects Enterprise サーバ用のプレアップグレードタスク」のステップを完了していることを確認します。
- 2 システム更新を使用して ZENworks サーバと管理対象デバイスを ZENworks Configuration Management 10.0.x から 10.0.3 にアップグレードします。
システム更新の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks System Updates の概要」を参照してください。
- 3 ZENworks 10.1.0 インストールメディアを使用して、すべてのプライマリサーバを 10.0.3 から 10.1 にアップグレードします。
ZENworks 10 Configuration Management SP1 (10.1.0) のインストール方法の詳細については、『Novell ZENworks 10 Configuration Management SP1 インストールガイド(<http://www.novell.com/documentation/zcm10/pdfdoc/zcm101.zip>)』を参照してください。
- 4 システム更新を使用して、10.0.3 管理対象デバイスを ZENworks 10 Configuration Management SP1 の更新 (10.1.0) にアップグレードします。
システム更新の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks System Updates の概要」を参照してください。
- 5 システム更新を使用して、10.1.x のプライマリサーバと管理対象デバイスを 10.2 に更新します。
ZENworks 10 Configuration Management SP2(10.2) アップデートは累積的です。つまり、プライマリサーバと管理対象デバイスを、次のバージョンからバージョン 10.2 に直接アップグレードできます。
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management SP1 (10.1.0)
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.1) 用アップデート
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.1c) 用アップデート

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.2a) 用アップデート
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.3) 用アップデート

重要: バージョン 10.2 を適用する前に、ZENworks 10 Configuration Management の以前の更新を ZENworks コントロールセンターから削除してください。

10.2 にアップグレードするには、次を実行します。

- 5a** (条件付き)ZENworks 内部データベースをホストするプライマリサーバを 10.1.x から 10.2 に更新します。
- 5b** 管理ゾーン内の他のすべてのプライマリサーバを 10.1.x から 10.2 に更新します (更新の順序は関係ありません)。
- 5c** 管理対象デバイスを 10.1.x から 10.2 に更新します。

システム更新の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks System Updates の概要」を参照してください。

- 6** システム更新を使用して ZENworks サーバと管理対象デバイスを ZENworks Configuration Management 10.2.x から 10.3 にアップグレードします。

ZENworks 10 Configuration Management SP3(10.3) への更新は累積的です。つまり、プライマリサーバと管理対象デバイスを、次のバージョンからバージョン 10.3 に直接アップグレードできます。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management SP2 (10.2)
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.2.1) 用アップデート
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.2.2) 用アップデート

重要: バージョン 10.3 を適用する前に、ZENworks 10 Configuration Management の以前の更新を ZENworks コントロールセンターから削除してください。

10.3 にアップグレードするには、次を実行します。

- 6a** (条件付き)ZENworks 内部データベースをホストするプライマリサーバを 10.2 から 10.3 に更新します。
- 6b** 管理ゾーン内の他のすべてのプライマリサーバを 10.2 から 10.3 に更新します (更新の順序は関係ありません)。
- 6c** 管理対象デバイスを 10.2 から 10.3 に更新します。

システム更新の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks System Updates の概要」を参照してください。

重要: ZENworks 10 Configuration Management SP3 (10.3) にアップグレード後は、ZENworks Configuration Management の旧バージョンからの ZENworks プライマリサーバを SP3 管理ゾーンにインストールできなくなります。

2.3 アップグレード後のタスク

- ◆ 19 ページのセクション 2.3.1 「Novell File Upload 拡張機能の再インストール」
- ◆ 19 ページのセクション 2.3.2 「組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築」

2.3.1 Novell File Upload 拡張機能の再インストール

ZENworks コントロールセンターを実行しているサーバにすでに ZENworks 10 Configuration Management File Upload 拡張機能がインストールされている場合は、サードパーティのイメージング操作を実行する前に、Novell File Upload 拡張機能を再インストールする必要があります。Novell File Upload 拡張機能を再インストールする方法の詳細については、[29 ページの付録 A 「Novell File Upload 拡張機能の再インストール」](#) を参照してください。

2.3.2 組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築

組み込みまたは外部の Sybase * データベースがインストールされている場合は、その Sybase * データベースを再構築して、Sybase データベースエンジンの更新バージョンで実行されるようにすることをお勧めします。データベースを再構築する方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス](#)』の「[組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築](#)」を参照してください。

ZENworks Configuration Management 10.1.x から SP3 (10.3) へのアップグレード

このセクションでは、Novell® ZENworks® Configuration Management 10.1.x から ZENworks Configuration Management SP3(10.3) へのアップグレードについて説明します。ZENworks Configuration Management 10.0.x からのアップグレード方法については、15 ページの第 2 章「ZENworks Configuration Management 10.0.x から SP3 (10.3) へのアップグレード」を参照してください。

Novell ZENworks 10 Configuration Management 10.1.x から ZENworks 10 Configuration Management SP3(10.3) にアップグレードするには、デバイスが、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「システム要件」に記載された要件を満たす必要があります。

ZENworks アーキテクチャの変更により、ZENworks サーバと管理対象デバイスを、バージョン 10.1.x からバージョン 10.3 に直接アップグレードすることはできません。ただし、ZENworks System Update とインストールメディアを組み合わせ使用して、10.1.x から 10.3 に移行できます。

ZENworks 10 Configuration Management SP3 のインストールメディアを使用して、バージョン 10.1.x から SP3 にアップグレードすることはできません。このセクションの指示に従う必要があります。

ZENworks 10 Configuration Management SP3 にアップグレードするには、次のセクションのタスクを実行してください。

- 21 ページのセクション 3.1 「アップグレードで行われない処理の理解」
- 21 ページのセクション 3.2 「ZENworks Configuration Management 10.3 へのアップグレード」
- 23 ページのセクション 3.3 「アップグレード後のタスク」

3.1 アップグレードで行われない処理の理解

ZENworks 10 Configuration Management SP1(10.1) で作成されたカスタムレポートを、ZENworks 10 Configuration Management SP3(10.3) へ移行することはできません。これらのレポートは ZENworks Reporting Server で作成し直す必要があります。

3.2 ZENworks Configuration Management 10.3 へのアップグレード

- 1 15 ページのセクション 2.1 「BusinessObjects Enterprise サーバ用のプレアップグレードタスク」のステップを完了していることを確認します。
- 2 システム更新を使用して ZENworks サーバと管理対象デバイスを ZENworks Configuration Management 10.1.x から 10.2 にアップグレードします。

ZENworks 10 Configuration Management SP2(10.2) アップデートは累積的です。つまり、プライマリサーバと管理対象デバイスを、次のバージョンからバージョン 10.2 に直接アップグレードできます。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management SP1 (10.1)
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.1) 用アップデート
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.1c) 用アップデート
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.2a) 用アップデート
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.3) 用アップデート

重要：バージョン 10.2 を適用する前に、ZENworks 10 Configuration Management の以前の更新を ZENworks コントロールセンターから削除してください。

10.2 にアップグレードするには、次を実行します。

- 2a** (条件付き)ZENworks 内部データベースをホストするプライマリサーバを 10.1 から 10.2 に更新します。
- 2b** 管理ゾーン内の他のすべてのプライマリサーバを 10.1 から 10.2 にアップグレードします (アップグレードの順序は関係ありません)。
- 2c** 管理対象デバイスを 10.2 に更新します。

システム更新の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス](#)』の「[ZENworks System Updates の概要](#)」を参照してください。

- 3** システム更新を使用して ZENworks サーバと管理対象デバイスを ZENworks Configuration Management 10.2.x から 10.3 にアップグレードします。

ZENworks 10 Configuration Management SP3(10.3) への更新は累積的です。つまり、プライマリサーバと管理対象デバイスを、次のバージョンからバージョン 10.3 に直接アップグレードできます。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management SP2 (10.2)
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.2.1) 用アップデート
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.2.2) 用アップデート

重要：バージョン 10.3 を適用する前に、ZENworks 10 Configuration Management の以前の更新を ZENworks コントロールセンターから削除してください。

10.3 にアップグレードするには、次を実行します。

- 3a** (条件付き)ZENworks 内部データベースをホストするプライマリサーバを 10.2 から 10.3 に更新します。
- 3b** 管理ゾーン内の他のすべてのプライマリサーバを 10.2 から 10.3 に更新します (更新の順序は関係ありません)。
- 3c** 管理対象デバイスを 10.2 から 10.3 に更新します。

システム更新の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス](#)』の「[ZENworks System Updates の概要](#)」を参照してください。

重要 : ZENworks 10 Configuration Management SP3 (10.3) にアップグレード後は、ZENworks Configuration Management の旧バージョンからの ZENworks プライマリサーバを SP3 管理ゾーンにインストールできなくなります。

3.3 アップグレード後のタスク

- [23 ページのセクション 3.3.1 「Novell File Upload 拡張機能の再インストール」](#)
- [23 ページのセクション 3.3.2 「WAIK のアップロード」](#)
- [23 ページのセクション 3.3.3 「ZENworks Reporting Server のインストール」](#)
- [24 ページのセクション 3.3.4 「組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築」](#)

3.3.1 Novell File Upload 拡張機能の再インストール

ZENworks コントロールセンターを実行しているサーバにすでに ZENworks 10 Configuration Management File Upload 拡張機能がインストールされている場合は、サードパーティのイメージング操作を実行する前に、Novell File Upload 拡張機能を再インストールする必要があります。Novell File Upload 拡張機能を再インストールする方法の詳細については、[29 ページの付録 A 「Novell File Upload 拡張機能の再インストール」](#) を参照してください。

3.3.2 WAIK のアップロード

ZENworks 10 Configuration Management SP1(10.1) を ZENworks 10 Configuration Management SP3 にアップグレードする場合で、WAIK がアップグレード前にアップロード済みの場合は、ZENworks 10 Configuration Management SP3 へのアップグレードの後に WAIK(winpe.wim) を再度アップロードする必要があります。WAIK をアップロードする方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management Preboot Services および Imaging リファレンス](#)』を参照してください。

3.3.3 ZENworks Reporting Server のインストール

ZENworks Reporting Server が ZENworks 10 Configuration Management(10.1) プライマリサーバにインストールされている場合は、サーバを ZENworks 10 Configuration Management SP3 にアップグレードすると ZENworks Reporting Server が機能しなくなります。

ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスを、同じプライマリサーバまたは別のサーバのいずれかにインストールする必要があります。

- [23 ページの 「同じプライマリサーバへの ZENworks Reporting Server のインストール」](#)
- [24 ページの 「別のサーバへの ZENworks Reporting Server のインストール」](#)

同じプライマリサーバへの ZENworks Reporting Server のインストール

- 1 ZENworks Reporting Server の既存インスタンスをアンインストールします。
ZENworks Reporting Server をアンインストールする方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management レポートングサーバインストールガイド](#)』の「ZENworks Reporting Server のアンインストール」を参照してください。

2 ZENworks Reporting Server をインストールします。

ZENworks Reporting Server のインストール方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management レポーターティングサーバインストールガイド](#)』を参照してください。

別のサーバへの ZENworks Reporting Server のインストール

1 ZENworks Reporting Server の旧バージョンを廃止してから、新しいインストールを実行します。

ZENworks Reporting Server の廃止方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management レポーターティングサーバインストールガイド](#)』の「[ZENworks Reporting Server の既存インスタンスの廃止](#)」を参照してください。

2 (オプション) ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスのインストール完了後、ZENworks Reporting Server の旧インスタンス (廃止したインスタンス) を以前のプライマリサーバからアンインストールします。

ZENworks Reporting Server のアンインストール方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management レポーターティングサーバインストールガイド](#)』の「[ZENworks Reporting Server のアンインストール](#)」を参照してください。

3.3.4 組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築

埋め込みまたは外部の Sybase データベースがインストールされている場合は、そのデータベースを再構築して、データベースが Sybase データベースエンジンの更新バージョンで実行されるようにすることをお勧めします。データベースを再構築する方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス](#)』の「[組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築](#)」を参照してください。

ZENworks Configuration Management 10.2.x から SP3 (10.3) へのアップグレード

このセクションでは、Novell® ZENworks® Configuration Management 10.2.x から ZENworks Configuration Management SP3(10.3) へのアップグレードについて説明します。

Novell ZENworks 10 Configuration Management 10.2.x から ZENworks 10 Configuration Management SP3(10.3) にアップグレードするには、デバイスが、『[ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド](#)』の「[システム要件](#)」に記載されている要件を満たす必要があります。

ZENworks 10 Configuration Management SP3(10.3) への更新は累積的です。つまり、プライマリサーバと管理対象デバイスを、次のバージョンからバージョン 10.3 に直接アップグレードできます。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management SP2 (10.2)
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.2.1) 用アップデート
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.2.2) 用アップデート

ZENworks 10 Configuration Management SP3 インストールメディアを使用して、バージョン 10.2.x から SP3 にアップグレードすることはできません。このセクションの指示に従う必要があります。

ZENworks 10 Configuration Management SP3 にアップグレードするには、次のセクションのタスクを実行します。

- ◆ [25 ページのセクション 4.1「ZENworks Configuration Management 10.3 へのアップグレード」](#)
- ◆ [26 ページのセクション 4.2「アップグレード後のタスク」](#)

4.1 ZENworks Configuration Management 10.3 へのアップグレード

重要: バージョン 10.3 を適用する前に、ZENworks 10 Configuration Management の以前の更新を ZENworks コントロールセンターから削除することを推奨します。

管理ゾーン内に複数のプライマリサーバがある場合は、すべてのサーバをバージョン 10.2.x から 10.3 にアップグレードしてから、ユーザソースを変更する必要があります。

バージョン 10.2.x から 10.3 に直接アップグレードするには、次の手順に従います。

- 1 システム更新を使用して、プライマリサーバと管理対象デバイスを 10.3 に更新します。
 - 1a (条件付き)ZENworks 内部データベースをホストするプライマリサーバを更新します。

- 1b 管理ゾーン内のその他すべてのプライマリサーバを更新します (更新の順序は関係ありません)。
- 1c 管理対象デバイスを更新します。

システム更新の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks System Updates の概要」を参照してください。

重要 : ZENworks 10 Configuration Management SP3 (10.3) にアップグレード後は、ZENworks Configuration Management の旧バージョンからの ZENworks プライマリサーバを SP3 管理ゾーンにインストールできなくなります。

管理ゾーンに、イメージング役割を持つ ZENworks 10 Configuration Management SP2 (10.2) サテライトが存在する場合は、そのサテライトを ZENworks 10 Configuration Management SP3 (10.3) にアップグレードして、サテライトからのイメージの取得や復元などのイメージング操作を正常に実行できるようにする必要があります。ZENworks 10 Configuration Management SP2 (10.2) サテライトを ZENworks 10 Configuration Management SP3 (10.3) サテライトにアップグレードするには、[25 ページのステップ 1](#) を実行します。

4.2 アップグレード後のタスク

- [26 ページのセクション 4.2.1 「ZENworks Reporting Server のアップグレード」](#)
- [27 ページのセクション 4.2.2 「Novell File Upload 拡張機能の再インストール」](#)
- [27 ページのセクション 4.2.3 「WAIK のアップロード」](#)
- [27 ページのセクション 4.2.4 「Sysinfo のインストール」](#)
- [28 ページのセクション 4.2.5 「組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築」](#)
- [28 ページのセクション 4.2.6 「ZENworks サーバ用追加 LDAP サーバの再定義」](#)

4.2.1 ZENworks Reporting Server のアップグレード

ZENworks Reporting Server が ZENworks 10 Configuration Management (10.2) プライマリサーバにインストールされている場合は、プライマリサーバを ZENworks 10 Configuration Management SP3 (10.3) にアップグレードすると、ZENworks Reporting Server も自動的にアップグレードされます。

ただし、ZENworks Reporting Server がプライマリサーバ上の ZENworks 10 Configuration Management (10.1) にインストールされている場合は、その ZENworks Reporting Server をアンインストールしてから、ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスを、同じプライマリサーバか、別のサーバにインストールしてください。

- [26 ページの「同じプライマリサーバへの ZENworks Reporting Server のインストール」](#)
- [27 ページの「別のサーバへの ZENworks Reporting Server のインストール」](#)

同じプライマリサーバへの ZENworks Reporting Server のインストール

- 1 ZENworks Reporting Server の既存インスタンスをアンインストールします。

ZENworks Reporting Server をアンインストールする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management レポートングサーバインストールガイド』の「ZENworks Reporting Server のアンインストール」を参照してください。

- 2 ZENworks Reporting Server をインストールします。

ZENworks Reporting Server のインストール方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management レポーターティングサーバインストールガイド](#)』を参照してください。

別のサーバへの ZENworks Reporting Server のインストール

- 1 ZENworks Reporting Server の旧バージョンを廃止してから、新しいインストールを実行します。

ZENworks Reporting Server の廃止方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management レポーターティングサーバインストールガイド](#)』の「ZENworks Reporting Server の既存インスタンスの廃止」を参照してください。

- 2 (オプション) ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスのインストール完了後、ZENworks Reporting Server の旧インスタンス (廃止したインスタンス) を以前のプライマリサーバからアンインストールします。

ZENworks Reporting Server のアンインストール方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management レポーターティングサーバインストールガイド](#)』の「ZENworks Reporting Server のアンインストール」を参照してください。

4.2.2 Novell File Upload 拡張機能の再インストール

ZENworks コントロールセンターを実行しているサーバにすでに ZENworks 10 Configuration Management File Upload 拡張機能がインストールされている場合は、サードパーティのイメージング操作を実行する前に、Novell File Upload 拡張機能を再インストールする必要があります。Novell File Upload 拡張機能を再インストールする方法の詳細については、[29 ページの付録 A 「Novell File Upload 拡張機能の再インストール」](#)を参照してください。

4.2.3 WAIK のアップロード

ZENworks 10 Configuration Management SP2(10.2) を ZENworks 10 Configuration Management SP3 にアップグレードしている場合で、WAIK がアップグレード前にアップロード済みの場合は、ZENworks 10 Configuration Management SP2 へのアップグレードの後に WAIK(winpe.wim) を再度アップロードする必要があります。WAIK をアップロードする方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management Preboot Services および Imaging リファレンス](#)』を参照してください。

4.2.4 Sysinfo のインストール

ZENworks 10 Configuration Management SP2 (10.2.x) から ZENworks 10 Configuration Management SP3 へプライマリサーバをアップグレードする場合は、Inventory-Only モジュールとともにパッケージされている Sysinfo を既存の Linux、HP-UX、AIX、および Solaris のインベントリのみデバイスにインストールする必要があります。Sysinfo をインストールするには、次のタスクをインベントリのみデバイス上で実行します。

- 1 次のコマンドを実行して、Sysinfo の既存バージョンをアンインストールします。

```
/opt/novell/zenworks/sysinfo/setup --uninstall --confirm
```

- 2 インベントリのみデバイスのプラットフォームに基づいて、適切な Inventory-Only モジュール (.tar) を ZENworks サーバからダウンロードします。

Inventory-Only モジュールを ZENworks サーバからダウンロードする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management 検出、展開、およびリタイアランス』の「ZENworks サーバからのモジュールのダウンロード」を参照してください。

- 3 inventory-only_package.tar ファイルを一時的な場所に抽出します。inventory-only_package.tar ファイルは Linux デバイス上の /opt/novell/zenworks/tmp ディレクトリに抽出されると想定します。

inventory-only_package.tar ファイルには、Inventory-Only モジュールパッケージに固有の Sysinfo インストーラが含まれています。

- mcsysinfo-noui-9-H12-linux-x86.sh (Linux の場合)
- mcsysinfo-noui-9-hpux-parisc.sh (HP-UX の場合)
- mcsysinfo-noui-9-H11-aix-powerpc.sh (AIX の場合)
- mcsysinfo-noui-9-H14-solaris-sparc.sh (Solaris の場合)

- 4 次のコマンドを実行します。

```
extracted_directory_tar/Sysinfo_Setup_filename --nowin --acceptlicense --licensefile inventory-only_package.tar_extracted_directory/tscunix.kb --installdir /opt/novell/zenworks/sysinfo --packages base,config,snmp,sdl,sid --confirm
```

たとえば、inventory-only_package.tar ファイルを Linux デバイス上の /opt/novell/zenworks/tmp ディレクトリに抽出する場合は、次のコマンドを実行します。

```
/opt/novell/zenworks/tmp/mcsysinfo-noui-9-H12-linux-x86.sh --nowin --acceptlicense --licensefile /opt/novell/zenworks/tmp/tscunix.kb --installdir /opt/novell/zenworks/sysinfo --packages base,config,snmp,sdl,sid -confirm
```

Sysinfo パッケージが /opt/novell/zenworks/sysinfo ディレクトリにインストールされます。

4.2.5 組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築

埋め込みまたは外部の Sybase データベースがインストールされている場合は、そのデータベースを再構築して、データベースが Sybase データベースエンジンの更新バージョンで実行されるようにすることをお勧めします。データベースを再構築する方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「組み込み Sybase データベースまたは外部 Sybase データベースの再構築」を参照してください。

4.2.6 ZENworks サーバ用追加 LDAP サーバの再定義

追加の LDAP サーバが Novell ZENworks 10 Configuration Management 10.2.x の alt-servers.properties ファイルで指定されており、それらの追加 LDAP サーバを ZENworks 10 Configuration Management 10.3 で継続して使用したい場合は、ZENworks コントロールセンターまたは zman コマンドラインユーティリティを使用して、手動でそれらの LDAP サーバを再定義する必要があります。ZENworks サーバ用の追加 LDAP サーバを再定義する方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「LDAP 負荷分散および対障害性の提供」を参照してください。

Novell File Upload 拡張機能の再インストール

A

ZENworks コントロールセンターを実行しているサーバにすでに ZENworks 10 Configuration Management File Upload 拡張機能がインストールされている場合は、サードパーティのイメージング操作を実行する前に、Novell File Upload 拡張機能を再インストールする必要があります。

1 Novell File Upload 拡張機能をアンインストールします。

Internet Explorer の場合 : 次の手順を実行します。

1. Internet Explorer* ブラウザのインスタンスをすべて閉じます。
2. ブラウザの新しいインスタンスを起動します。
3. [ツール] > [インターネットオプション] > [全般] の順にクリックします。
4. [閲覧の履歴] パネルで [設定] をクリックします。
5. [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ウィンドウで [オブジェクトの表示] をクリックします。
6. [Downloaded Program Files] ウィンドウで [NFileUpload Class] を右クリックし、[削除] をクリックします。

Firefox の場合 : 次の手順を実行します。

1. [ツール] > [アドオン] の順にクリックします。
2. [アドオン] ウィンドウで [Novell ZENworks File Upload Extension 10.2.x] をクリックして、[アンインストール] をクリックします。
3. Firefox ブラウザを閉じます。
4. `Firefox_install_directory/plugins` ディレクトリを探し、`npzenworks.dll` および `nsINZENScriptablePlugin.xpt` ファイルをディレクトリから削除します。
5. Firefox を再起動します。

2 ZENworks 10 Configuration Management SP3 File Upload 拡張機能をインストールします。

次回 ZENworks コントロールセンターを使用してファイルパスをブラウズしたり、ファイルをアップロードしたりすると、最新の Novell File Upload Extension をインストールするようプロンプトが表示されます。プロンプトに従って Novell File Upload 拡張機能をインストールします。

ZENworks 10 Configuration Management アップグレードパスのクイックリファレンス

B

図 B-1 ZENworks 10 Configuration Management SP3 へのアップグレード



